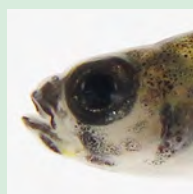
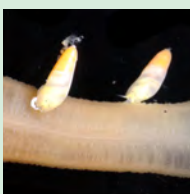
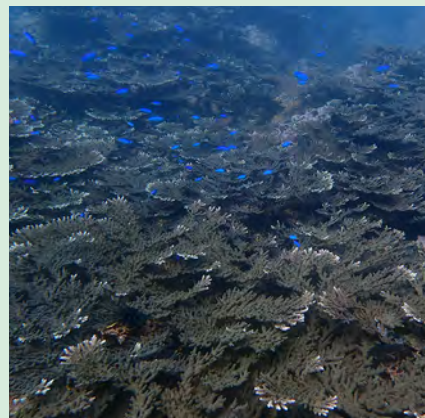
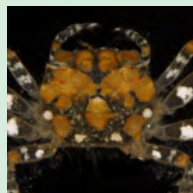
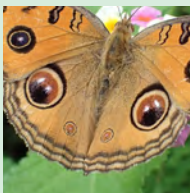
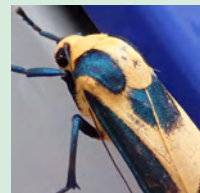
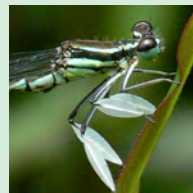
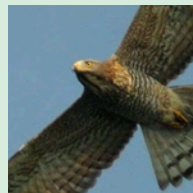
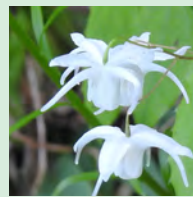
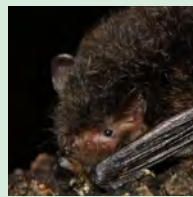


延岡市 自然環境 ガイドブック

延岡市自然環境モニタリング調査
(2017年度 - 2020年度)



しぜんかんきょうちょうさ もくてき
自然環境調査の目的

のべおかし ゆた しぜん
延岡市には豊かな自然があり、たくさんの野生の生き物がすんでいます。市では、どんな生き物がどこにいるのかを知るために、自然環境のモニタリング調査をしています。このガイドブックでは、2017年度から2020年度の調査結果をまとめました。

ちょうさけっか がいよう
調査結果の概要

しょくぶつ にゅうらい ちょうらい ちゅうらい りょうせいらい ぎょらい こんちゅうらい
植物、ほ乳類、鳥類、は虫類・両生類、魚類、昆虫類（チョウ・ガ・カメムシ・コウチュウ）、
こうかくらい かいらい るい た ひがた どうぶつ ちょうさ
甲殻類、貝類、サンゴ類、その他の干潟の動物について調査をしました。
それぞれの調査結果は次のとおりです。

植 物

200種を確認
重要種は183種を確認

ほ 乳 類

38種を確認
重要種は10種を確認

鳥 類

233種を確認
重要種は69種を確認

は 虫 類 ・ 両 生 類

30種を確認
重要種は11種を確認

昆 虫 類

(チョウ) 120種を確認
重要種は39種を確認
(ガ) 831種を確認
重要種は7種を確認
(カメムシ) 431種を確認
重要種は11種を確認
(コウチュウ) 1097種を確認
重要種は69種を確認

魚 類

(純淡水産) 約31種を確認
重要種は11種を確認
(汽水産) 63種を確認
重要種は12種を確認
※汽水域を利用する河口魚・回遊魚

甲 殻 類

(淡水産) 9種を確認
重要種は3種を確認
(汽水産) 130種を確認
重要種は41種を確認

貝 類

(陸産) 68種を確認
重要種は21種を確認
(淡水産) 12種を確認
重要種は6種を確認
(汽水産) 137種を確認
重要種は46種を確認

サ ン ゴ 類

101種を確認
重要種は3種を確認

その他の干潟の生き物

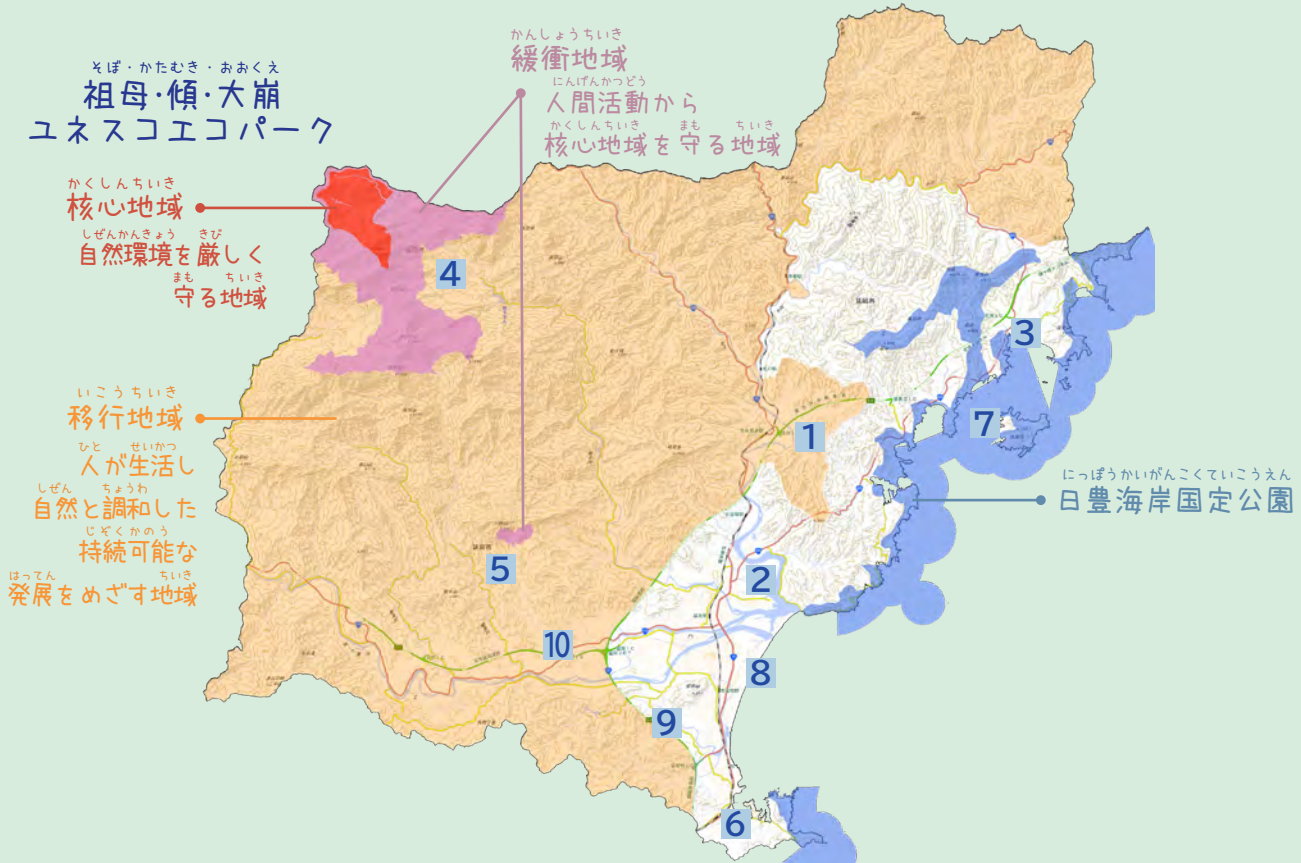
4種を確認
重要種は4種を確認

重要な生育地・生息地

市内の重要な生育地・生息地

のべおかし せかい みと そぼ・かたむき・おおくえ にっぽうかいがんこくていこうえん
 延岡市には、世界に認められた「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」や、「日豊海岸国立公園」
 に指定されたエリアなど、豊かな自然環境が残っています。

このような自然環境の中でも、特にたくさんの生き物がすんでいる地域を「重要な生育地・生
 息地」として選びました。ここでは、その一部を紹介します。



	重要な生育地・生息地	確認されている重要種									自然環境 タイプ	
		植物	ほ乳類	鳥類	両は類	魚類	昆虫類	甲殻類	貝類	サンゴ類		干潟その他
1	きたがわしづげん 北川湿原	●		●	●		●					しづげん 湿原
2	ともうちがわ 友内川	●		●		●						かせん 河川
3	くまのえがわかこうかいひんいき 熊野江川河口海浜域	●				●	●	●	●		●	かこう ひがた 河口・干潟
4	おおくえやまいったい 大崩山一帯	●	●	●	●		●					しぜんりん 自然林
5	むかばきやま 行藤山	●	●	●			●		●			しぜんりん 自然林
6	くしつひがた みやうけんわん 櫛津干潟・妙見湾	●				●		●	●			かこう ひがた 河口・干潟
7	しまのうらしま およ 島野浦島及びその周辺海域	●					●		●	●		かいいき しょう 海域(サンゴ礁)
8	ながはま ほうざい しんはま すなはま 長浜、方財、新浜の砂浜	●			●		●					かいいき すなはま 海域(砂浜)
9	ひやじり ちく おきたがわ ようすいろ 冷尻地区(沖田川)の用水路								●			いけ すいろ ため池・水路
10	むかばき まいの かい はたしゅうへん さとやま 行藤・舞野・貝の畑周辺の里山	●	●	●	●		●					にじりん 二次林

せいぶつたようせい ゆた ちいき
生物多様性が豊かな地域

しな い しぜんかんきょう
市内の自然環境タイプ

日本はたくさんの島々からなり、
 大きさは南北に約 3000km あり
 ます。森林、湿原、河川、干潟、
 サング礁などのさまざまな自然環
 境があり、それぞれの自然環境に
 約 9 万種以上のたくさんの生き物
 が暮らしています。
 海、山、川の大自然がある延岡市
 でも、森林や河川、湿地、サング
 礁などのさまざまな自然環境があ
 ります。そして、それぞれの自然
 環境にいろいろな生き物が暮らし
 ています。豊かな自然環境を大き
 く 5 つのタイプに分け、それぞ
 れの自然環境のタイプと代表的な生
 き物についてまとめました。



延岡市の自然環境タイプ

だい ぶん るい 大分類	しょう ぶん るい 小分類	だい ひょう てき ち いき 代表的な地域
おくやま 奥山エリア	しぜんりん 自然林	おおくえやま おにのめやま むかばきやま 大崩山、鬼の目山、行藤山
さとちさとやま 里地里山エリア	にじりん 二次林	むかばき まいの かいのはた ちく ふじのき ちく 行藤・舞野・貝の畑地区、藤ノ木地区
	のうち そうち 農地・草地	やまぐちばる ちく こびらやま 山口原地区、高平山
	いけ すいろ ため池・水路	いなばぎき ちく いげぐん ひやじり ちく ようすいろ 稲葉崎地区ため池群、冷尻地区用水路
かせん しつげん 河川・湿原エリア	かせん 河川	こがわ おきたがわ きたがわ ともうちがわ 小川、沖田川、北川、友内川
	しつげん 湿原	きたがわしつげん えだ しつげん かわさかしつげん 北川湿原（家田湿原・川坂湿原）
えんがん 沿岸エリア	かこう ひがた 河口・干潟	くまのえがわ かこう ひがた くしつ ひがた 熊野江川河口干潟、櫛津干潟
	かいがん すなはま がんしょう 海岸（砂浜・岩礁）	ながはまかいがん くまのえ かいがん あかみず ちく 長浜海岸、熊野江海岸、赤水地区
しがいち 市街地エリア	かいいき しょう 海域（サング礁）	しまのうらしま しゅうへん 島野浦島周辺
	しがいち りよくち 市街地緑地	あたごやま しろやま 愛宕山、城山

代表的な地域【大崩山】



大崩山周辺は、人の手がほとんど入っていない天然の森林があり、多くの希少な生き物がすんでいます。そのため、市内で最も重要な生き物のすみかのひとつです。貴重な生き物のすみかを守るため、国が「森林生態系保護地域」と定めて、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの中心的な地域となっています。

このエリアにすんでいる生き物



ササユリ



ツクシトウヒレン



ツチビノキ



ニホンカモシカ



クロホオヒゲコウモリ



ソボサンショウウオ



クマタカ



左:イワヒラカメシ
右:カトメヒラカメシ

代表的な地域【行藤・舞野・貝の畑地区】



行藤・舞野・貝の畑地区では、人間が環境にやさしい農業を続けてきたため、自然が豊かな里地里山が残っています。特に行藤地区は「生物多様性保全上重要な里地里山」に選ばれています。キンラン、タイリンアオイ、トノサマガエル、サシバなど、里地里山を代表するたくさんの希少な生き物たちが暮らしています。

このエリアにすんでいる生き物



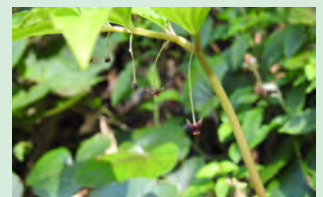
キンラン



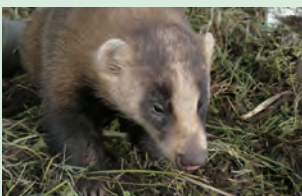
タイリンアオイ



ヒメイカリソウ



コバナナベワリ



アナグマ



トノサマガエル



サシバ



タガメ

代表的な地域【山口原地区】



人間が農業をする田んぼや畑も、大切な生き物のすみかのひとつです。農業を続けることによって背の低い草が生える環境ができ、そのような場所では稲刈りが終わった後の田んぼにもさまざまな植物が育ちます。そのため、希少な植物にとっては田んぼや畦などの農地や草地が重要な場所になっています。

このエリアにすんでいる生き物



ヒメノボタン



マルバノサワトウガラシ



ミズマツバ



ヒメコウガイゼキショウ



ミズネコノオ



カヤネズミ

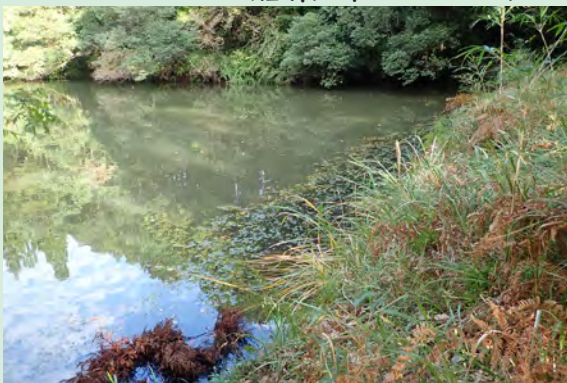


アカハライモリ



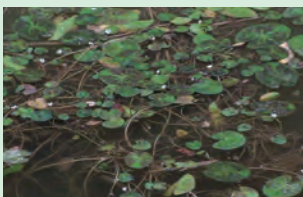
タテハモドキ

代表的な地域【稲葉崎ため池群】



ため池は農業で使う水をためておく人間が作った池のことで、稲葉崎には8つの池があり、周りには湿地があります。ため池や湿地には、水辺を好む植物や水の中にすむ昆虫がすんでいます。現在、現在は少なくなっています。ため池などの水辺は将来にわたって守らなければならない自然環境のひとつです。

このエリアにすんでいる生き物



ヒメシロアサザ



コウホネ



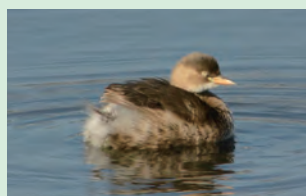
ミズオオバコ



サクラバハシノキ



チヨウジソウ



カイツブリ



タイコウチ



マルタニシ

代表的な地域【小川】

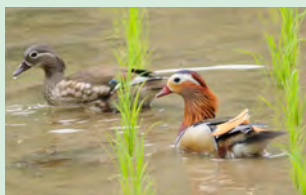


きたうちょう きたがわちょう なが こがわ みず
北浦町から北川町を流れる小川は、水がきれいで、
いろいろな川の生き物が暮らしています。特にゲ
ンジボタルが多く見られ、日本有数のホテルのす
みかとされています。また、小川とそのまわりの
森林がひとつとなった風景はとても美しく、いつ
までも大事にしなければならない自然です。

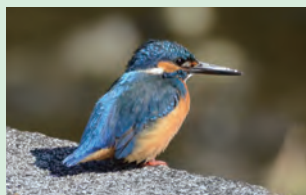
このエリアにすんでいる生き物



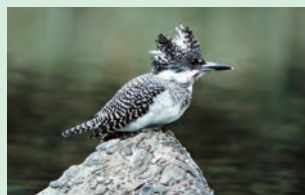
ウバタケニンジン



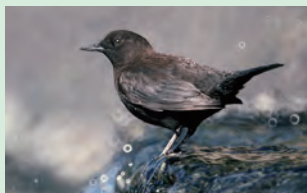
オシドリ



カワセミ



ヤマセミ



カワガラス



カジカガエル



ニホンイシガメ



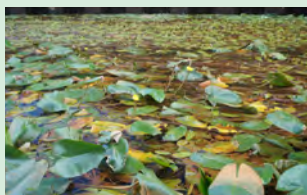
ゲンジボタル

代表的な地域【北川湿原】



えだ しつげん かわさかしつげん じもとじゅうみん せいかつ きょう
家田湿原と川坂湿原があり、地元住民の生活と共
存したすばらしい里山と水辺が残っています。た
くさんの希少な生き物がすんでいて、サイコクヒ
メコウホネとオグラコウホネの群落は国内最大級
の大きさです。まわりの里山でも希少な植物が見
られ、宮崎県の重要生息地になっています。

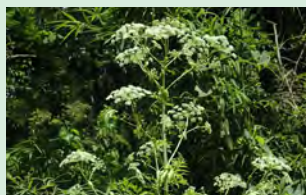
このエリアにすんでいる生き物



サイコクヒメコウホネ



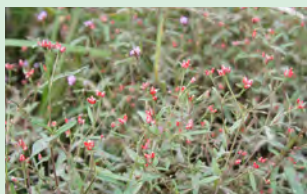
オニナルコスゲ



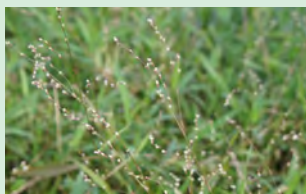
ヨロイグサ



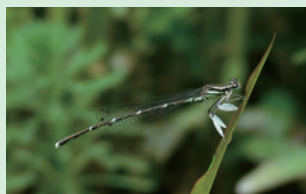
ハタバカンガレイ



サデクサ



ヌカポタテ



グンバイトンボ



ニッポンミズスマシ

代表的な地域【熊野江川河口】



河口域には、たくさんの生き物がすむ干潟があります。名前に「熊野江」の地名を含むクマノエミオスジガニや、干潟をすみかとするゴマハゼやチクゼンハゼなどの魚、海水がまじる干潟で育つハマサジなどの植物が見られます。日豊海岸国定公園の海辺にも多くの種類の生き物が暮らしています。

このエリアにすんでいる生き物



ハマサジ



ハママツナ



ハマボウ



オオソリハシシギ



ゴマハゼ



チクゼンハゼ



クマノエミオスジガニ



ヒモイカリナマコ
ヒモイカリナマコツマミガイ

代表的な地域【長浜海岸】



アカウミガメが産卵のために上陸するため、「アカウミガメ及びその産卵地」として県の天然記念物になっています。海の近くの森林から砂浜へ続く自然はとても貴重で、守らなければならない自然のひとつです。砂浜海岸では、砂浜にすむイカリモンハンミョウという昆虫やシロチドリという鳥が暮らしています。

このエリアにすんでいる生き物



ハマボウフウ(砂浜)



ハマニガナ(砂浜)



シロチドリ(砂浜)



アカウミガメ(砂浜)



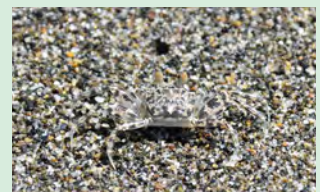
タワヤモリ(岩礁)



イカリモンハンミョウ(砂浜)



シロハンミョウ(岩礁)

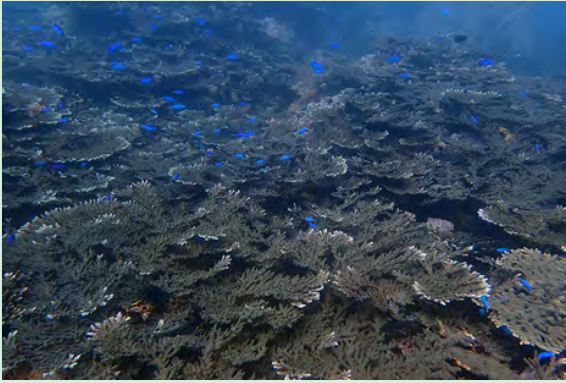


スナガニ(砂浜)

えんがん
沿岸エリア

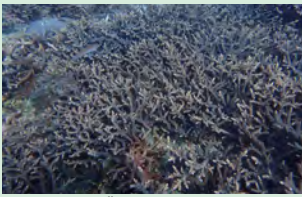
かいいき しょう
海域 (サンゴ礁)

しまのうらしましゅうへん
代表的な地域【島野浦島周辺】



みやざきけん もっと おお しま
宮崎県で最も大きい島で、島のまわりにはサンゴ
の仲間が 80 種類以上もすんでいるため、市内で
最も重要なサンゴのすみかとなっています。島の
場所によって違ったサンゴが見られ、島の西の湾
内ではクシハダミドリイシ(左写真)やエンタクミド
リイシの大きな群落を、島の北の湾ではオオスリ
バチサンゴの巨大群落を見ることができます。

このエリアに住んでいる生き物



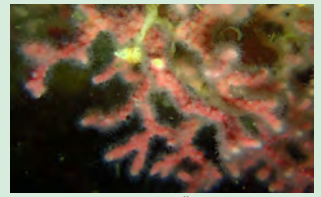
エダミドリイシ



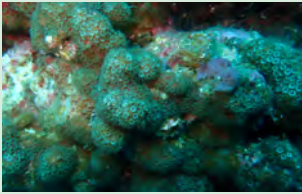
オオナガレハナサンゴ



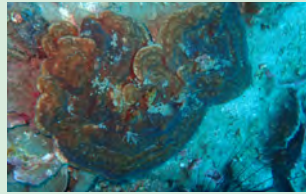
タコノアシサンゴ



アサノエダサンゴ



カービエダサンゴ



ウェルサスリサンゴ



タネガシマミドリイシサンゴ



オオスリバチサンゴ

しがいち
市街地エリア

しがいち りよくち
市街地緑地

あたごやま
代表的な地域【愛宕山】



し ちゅうしんぶ やま しみん
市の中心部にある 251m の山で、市民のくつろ
ぎの場として利用されています。広さ約 300ha
の森林があります。動物のムササビや、多くの野
鳥、昆虫、植物がすんでいて、市街地の中でたく
さんの生き物を観察できる貴重な場所になってい
ます。

このエリアにすんでいる生き物



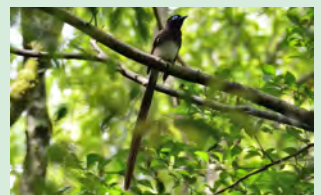
オオバナム



タニワタリノキ



ムササビ



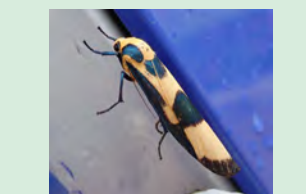
サンコウチョウ



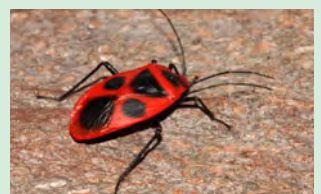
ルリビタキ



ニホントカゲ



ルリモンホソバ



ベニツチカメムシ

がいらいしゅもんだい し 外来種問題を知っていますか？

がいらいしゅ 外来種とは…

がいらいしゅ ちいき い もの ほかにんげん かつどう
「外来種」とは、もともとその地域にいなかった生き物で、他の地域から人間の活動によって入ってきた生き物のことです。もともとその地域にいた生き物は「在来種」といいます。

ちゅうい こくない ゆらい がいらいしゅ 注意！国内由来の外来種もあります！

しないなが きたがわ ほそみがわ ぜつめつ きくしゅ さかな
市内を流れる北川や細見川には、絶滅危惧種であるオヤニラミという魚がすんでいます。オヤニラミはもともと延岡市にはいなかった魚です。そのため、国内由来の外来種であると考えられています。

がいらいしゅ えいきょう 外来種による影響

外来種の中には、まわりの環境に次のような悪い影響を与える可能性があります。

- ・ 在来種を食べたりすることで、その地域の生き物の関係のバランスを崩してしまう。
- ・ 毒を持っていて刺したり、かみついたりするなど人間の命や身体に影響を与える。
- ・ 農作物を食べてしまい、経済的に悪い影響を与える。

とくていがいらいせいぶつ ちゅうい 特定外来生物に注意！

かいがい にほん がいらいせいぶつ ちゅうい
海外から日本に入ってきた外来種を「外来生物」といいます。外来生物のうち、特に注意すべき生き物は「特定外来生物」に指定され、飼育したり、捕まえて生きたまま持ち帰ったりすることが禁止されています。

市内で確認されている特定外来生物

【植 物】オオキンケイギク、オオフサモ

【ほ乳類】アライグマ 【鳥 類】ソウシチョウ、ガビチョウ

【魚 類】ブルーギル、オオクチバス（ブラックバス）

【クモ類】ハイロゴケグモ

オオキンケイギク



オオフサモ



アライグマ



ソウシチョウ



ガビチョウ



ブルーギル



オオクチバス



ハイロゴケグモ

がいらいしゅ たいさく 外来種対策の3つのルール

がいらいしゅ ひ おこ もんたい
外来種が引き起こす問題は、外来種がその地域にすみついて増えてから分かることが多いです。このため、外来種による被害を防ぐための3つのルールを正しく理解し、きちんと守ることが大切です。

1. いれない

悪い影響があるかもしれない外来種を入れない（持ち込まない）。

2. すてない

飼ったり育てたりしている外来種を、捨てない・放さない・逃がさない。

3. ひろげない

すでに野外にいる外来種を他の地域に拡げない、増やさない。

せいぶつたようせい まも 生物多様性を守ろう！

せいぶつたようせい 生物多様性とは…

ちきゅう す い もの なが れきし なか かんきょう たいおう げんざい
地球上に住む生き物は、長い歴史の中で、さまざまな環境に対応してきました。現在、地球には、3,000万種類ともいわれるたくさんの生き物がいます。これらの生き物たちは森や川、草原、湿地、海などいろいろな場所で、お互いにバランスを取りながら生きています。このように、たくさんの種類の生き物すべてが、複雑に関わり合って存在していることを、「生物多様性」とよんでいます。わたしたち人間もその生き物のひとつなのです。

せいぶつたようせい なか にんげん せいかつ
生物多様性の中で、わたしたち人間は生活することができています。森は二酸化炭素を吸収し、酸素を作ります。自然は災害から人間を守ってくれています。また、食べ物やエネルギー、さまざまな製品を作る材料など、生活に必要なものすべては生物多様性が与えてくれる恵みです。これらの恵みは「生態系サービス」とよばれています。



せいぶつたようせい まも わたし 生物多様性を守るために私たちのできること

いま たくさん の 生き物が、人間の暮らしの影響で絶滅の危機にあります。その結果、生物多様性が失われてきています。

せいぶつたようせい きき 生物多様性の4つの危機

1. 自然の開発や生き物をむやみにとることによる、生き物やすむ場所の減少
2. 里地里山などの手入れが不足することによる、生き物同士の関係のバランスの変化
3. 外来種などが入ってきたことによる、生き物同士の関係のバランスの変化
4. 地球温暖化による環境の変化

このままでは、わたしたちは自然の恵みをもらえなくなってしまう。生物多様性が与えてくれる自然の恵みをこの先ももらえるようにするために、一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の中でとらえることが必要です。また、それを実感し、自分にできることから行動することが大切です。

STEP 1

きき 気づこう

- ・身近な生き物を探してみよう。
- ・近所の公園や山、海、川に行って自然を感じてみよう。
- ・動物園や水族館、植物園などに行って、生き物の生態や面白さを実感しよう。

STEP 2

しら 調べよう

- ・普段目にする生き物や身近な野生生物について調べてみよう。
- ・外来種とその問題点について調べてみよう。
- ・生き物と人の生活とのつながりを調べてみよう。

STEP 3

こうどう 行動しよう

- ・ペットは最後まで責任をもって飼おう。
- ・自然や生き物の観察・保全・再生活動に参加してみよう。
- ・自然や生き物について体験したことや興味を持ったことを家族や友達に伝えてみよう。

のべおか里山種ガイドブックの紹介

本市では延岡市 SATOYAMA 保全推進会議のご協力をいただき、「のべおか里山種ガイドブック」を発行しています。このガイドブックは、本市の里山に生息する動植物を調査し、その代表的な種類を「のべおか里山種」として紹介しています。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークへ登録されたことで、延岡市では大崩山周辺の核心地域・緩衝地域に注目が集まっていますが、移行地域である里山にも、工業都市とは思えない大変多くの動植物が生息しており、生物多様性と持続可能な発展の調和が図られています。大変見ごたえのある一冊になっています。



ガイドブックのお問い合わせは延岡市生活環境課 (0982-22-7001) まで。

執筆者

延岡市 SATOYAMA 保全推進会議 生物多様性調査専門委員会
 専門アドバイザー

- (維管束植物) 成迫 平五郎
- (哺乳類) 岩切 康二
- (鳥類) 稲田 菊雄
- (爬虫類・両生類) 末吉 豊文
- (河川・河口域魚類) 村瀬 敦宣
- (昆虫類 (チョウ・ガ・カメムシ・コウチュウ)) 安本 潤一、柳田 恒一郎、小松 孝寛、岩切 康二
- (陸産貝類) 西 邦雄
- (淡水産生物 (甲殻類・貝類・魚類)) 中村 憲一
- (汽水・海水産甲殻類および貝類、その他無脊椎動物) 三浦 知之
- (サンゴ類) 深見 裕伸、高橋 勝栄

写真協力 (ハイロゴケグモ) 串間研之
 編集協力 岩切環境技研株式会社

延岡市自然環境ガイドブック

延岡市自然環境モニタリング調査 (2017 年度～ 2020 年度)

編集 延岡市 SATOYAMA 保全推進会議
 発行 延岡市 市民環境部 生活環境課

〒882-8686 宮崎県延岡市東本小路 2 番地 1
 電話 0982-22-7001 FAX 0982-31-5515
 E-mail s-kankyo@city.nobeoka.miyazaki.jp